

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

ねらいに応じて互いの時間を設定し、一人一人の学びの最大化を目指しています

個別最適な学び

協働的な学び

学びの個性化を目指し、各自が課題設定する場面を取り入れる。

一斉、グループ、ペア等学習内容やねらいに応じた授業を展開する。

孤立した学びにならないよう情報を共有する

互いの学びが深まるよう情報を共有する

リーディングDXスクール事業【実践事例】

富山市立芝園中学校（富山県）【指定校】

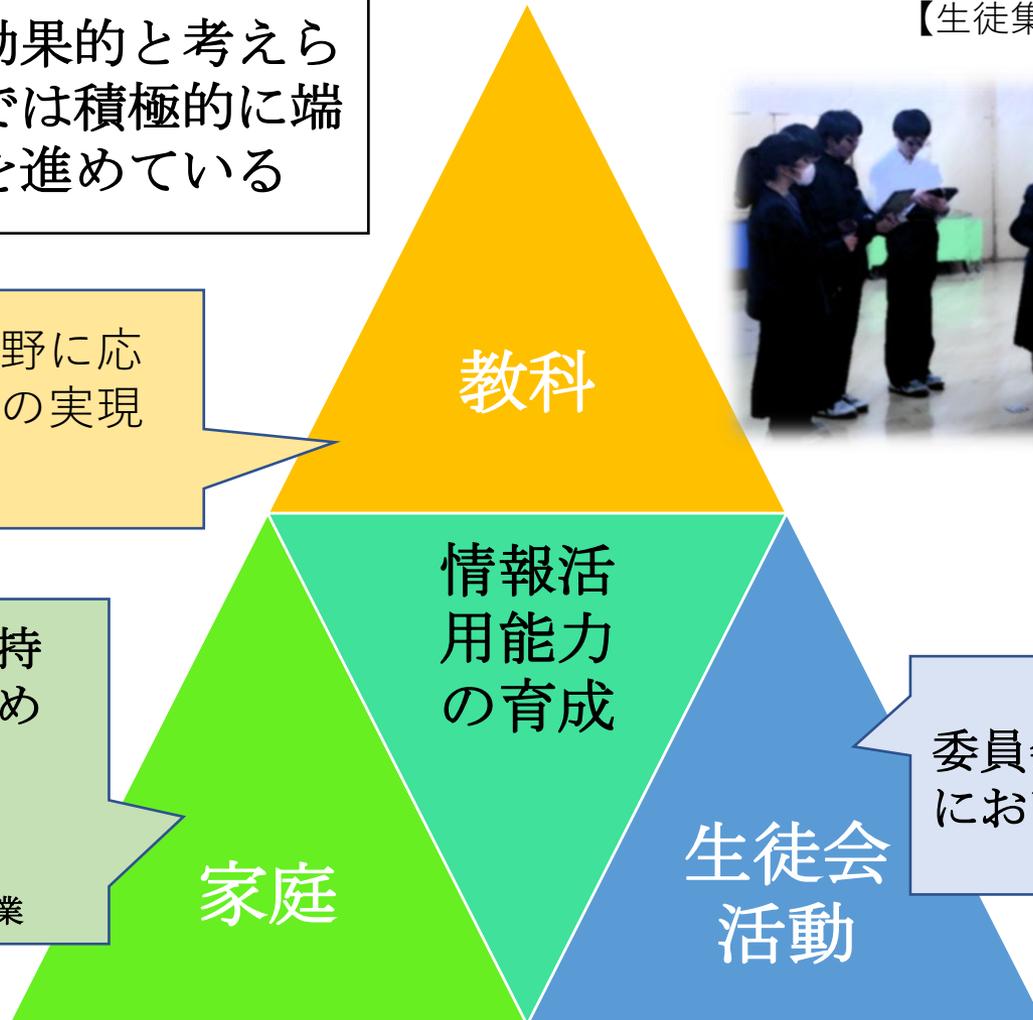
【取組内容】 ②あらゆる場面を通じた情報活用能力の育成（全体像）

効率的・効果的と考えられる場面では積極的に端末の利用を進めている

各教科の特性や分野に応じてよりよい学びの実現に向けた活用

目的を明確にして持ち帰り、活用を進めている

【主な持ち帰り場面】
①教科の課題等、②長期休業



【生徒集会の様子】



委員会活動や生徒集会において積極的に活用

リーディングDXスクール事業【実践事例】

富山市立芝園中学校（富山県）【指定校】

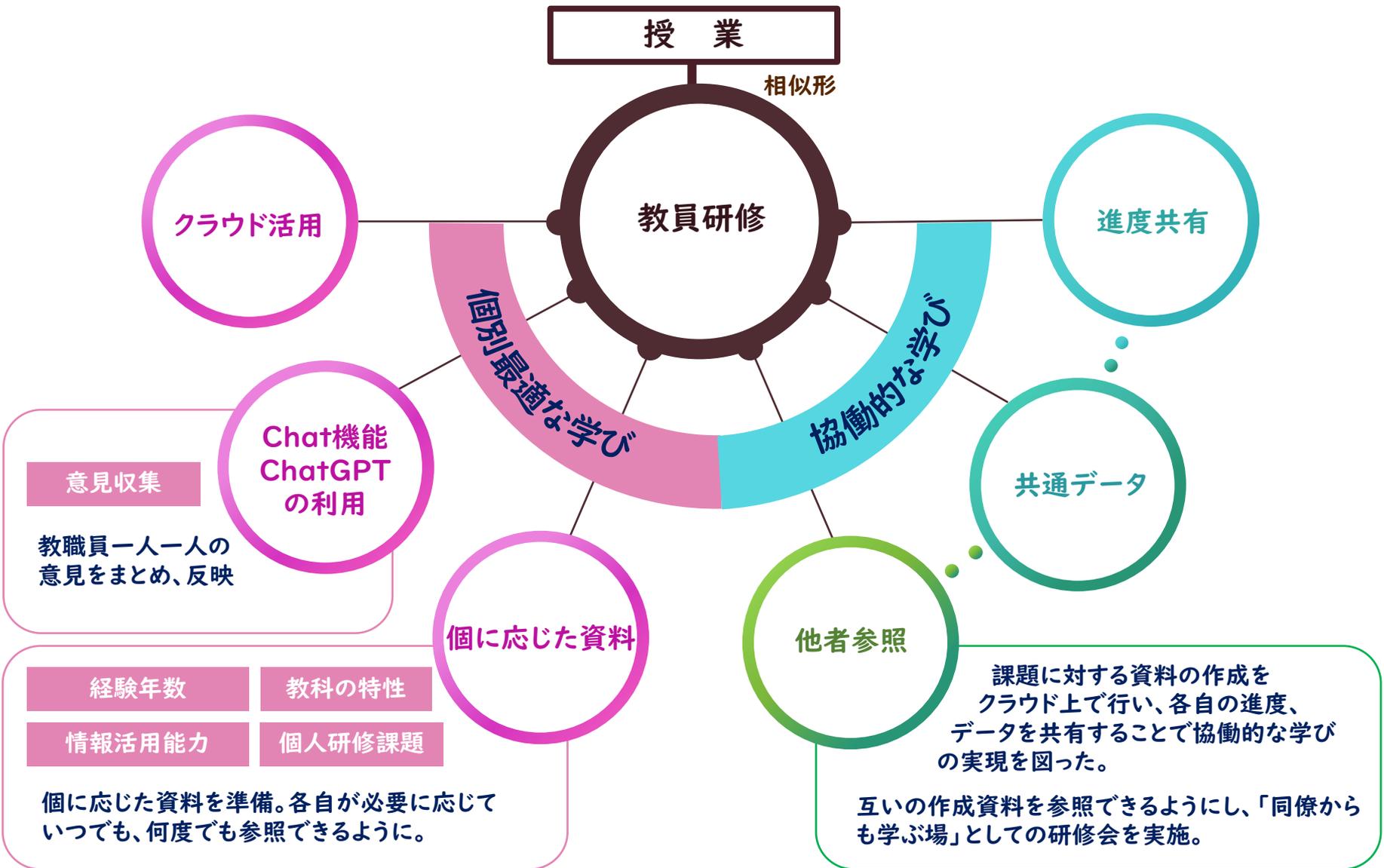
【取組内容】 ②あらゆる場面を通じた情報活用能力の育成

観点	活動内容	資質・能力が育成される場面
<p>A. 知識及び技能</p>	<p>授業 生徒会活動 家庭</p>	<p>○授業等において、データを共有することのメリットとデメリットについて指導することで、情報モラルに関する理解を深めている。 ○長期休業前に家庭における端末利用について指導し、家庭とも連携するなど、トラブル等に巻き込まれることへの未然防止に努めている。</p>
<p>B. 思考力、判断力、 表現力</p>	<p>授業 生徒会活動 家庭</p>	<p>○授業における課題学習や委員会活動の企画・運営等の機会をとおして、問題解決・探究における情報を活用する力を培っている。また、長期休業等においても日記の入力等で端末を活用しており、家庭でも活用する機会がある。</p>
<p>C. 学びに向かう力、 人間性等</p>	<p>授業 生徒会活動 家庭</p>	<p>○自身のさまざまな課題に対して、端末を積極的に活用することで、問題解決・探究における情報活用態度を培っている。</p>

リーディングDXスクール事業【実践事例】

富山市立芝園中学校（富山県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の要素を組み合わせた教員研修



【取組内容】 指導案のデジタル化

紙面で指導案を配付する場合とは異なり、指導者は直前まで指導案の内容を変更することができる。

コメント機能を利用し、一つの指導案のデータ内に、参観者全員の意見を集約することができる。

	B	C
	には、青色を塗る。	
	<ul style="list-style-type: none"> 〇四人班で、ホワイトボードに根拠を挙げるための話し合いを行う。 ・ホワイトボードを左右二分割し、記入する。 ・黒板に提示し、全体で共有する。 	<p>9:02 11月21日</p> <p>「天上界で悩み事が無いことは良いことなのか」ということで話し合っていた。「飛ぶ軍は入るのか」と話していた。どの班も資料から読み取ったことを要約していた。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 〇自分の立場を明確にし、根拠を挙げて話し合う。 ・心積りで自分の立場を明確にする。 	
	<ul style="list-style-type: none"> 〇フォームで、自分の意見を書いて提出する。 	<p>9:11 11月21日</p> <p>ホワイトボードにまとめるという作業はクロムブックより手軽に行えて、かつ、班員同士の関わりが生まれてよかった。</p>

コメント機能の利用

直前まで変更可能

画像による資料共有



指導案

研修の質の向上

事前相談アドバイス

指導案のデータ内に、参観者全員の意見が集約されているため、短時間で質の高い事後研修会を行うことができる。

紙とは異なり、範囲制限が無いため画像や動画を挿入することができる。

の留意点	見どころ
像の規則性を見付けよう ① 像の大きさ、像の向きはどのようになるだろう～	
凸レンズからの距離を示す。 物体と比べて大きく小さいかで表すよ	・物体と凸レンズとの距離を自由に設定させ、できる像の規則性を見付けさせる。
レンズと反対側かたときの向きで判る。 大きくなる位置を案ずる。 ながら、凸レンズしたら、像はどのりやけ、凸レンズみを考えさせる。	・発展課題の提示により、凸レンズで像ができるしくみに着れる生徒が出てくることを期待している。
ミレーションがーずるよう位置 大きくなる位置 ミレーションがーずるよう位置	・凸レンズでできる像の位置と実際にできる像を結びつけてイメージすることができる。 ・実験には誤差がつきものだが、シミュレーション結果と比較しながら実験を進めることで、より正確な実験結果を得ることができ、次時の
ミレーションがー再度実験で確認す	



新しい参観マナー

参観者が授業中にコメントを入力することに対し賛否両論があった。新しい参観マナーが必要。

指導案の作成中からデータを共有することができるため、事前に相談したり、アドバイスを受けたりしやすい。